

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0171300072		
法人名	メリーライフ株式会社		
事業所名	グループホーム里の家大曲(あかしあ)		
所在地	北海道北広島市大曲緑ヶ丘1丁目2-2		
自己評価作成日	平成26年12月1日	評価結果市町村受理日	平成27年2月13日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当事業者は「認知することに障害があっても適切な支援があれば普通に暮らせる」をモットーにご家族、地域との関係性を構築しながら地域社会に貢献することを目標としています。利用者一人ひとりが家庭的な雰囲気の中で思い思いに生活し、居心地の良い暮らしを送ることにより、その人らしい穏やかな日常生活を続けられるよう支援しています。具体的にはそれまでの暮らしに近い環境となるようなじみのある家具や道具に囲まれた環境を作りを行い、畑仕事や買い物を楽しみ、頻回な外出行事や地域の方との交流を行っています。又職員は入居者様と生活をともにしていることを意識してゆっくりと関わりを持ち、一人ひとりの状態に応じた支援を専門職として提供できるよう努めています。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kani=tue&amp;JigyosyoCd=0171300072-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kani=tue&amp;JigyosyoCd=0171300072-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社 ふるさとネットサービス
所在地	札幌市中央区北1条西7丁目1番あおいビル7階
訪問調査日	平成 27 年 1 月 26 日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホーム(3ユニット)は多数の福祉事業を展開している代表者が、当地に開設して13年が経過しています。関係機関である輪厚三愛病院と連携を密にしており、利用者や家族の安心を得ています。町内会長を初め地域の方々からは、相互の行事やイベントの招待、小学生や保育園児、各種ボランティアの方々との交流、運営推進会議や避難訓練への参加を頂くなど、ホームに理解と支援が寄せられています。職員、利用者、家族の人間関係も構築されており、共に支え合う暮らしが続けられています。地域との繋がりや人材育成を重要視している運営法人のバックアップを得て、職員は利用者とのさり気ない会話の中から思いや意向を汲み取り、喜びや安心に繋がる支援に努めている「グループホーム里の家大曲」です。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します					
項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ユニット内に理念の掲示を行い、目的意識を持てるように努めている。毎朝行なっている申し送りでも、理念の唱和を行い、理念の共有化や理解を深め実践につなげている。	職員は、利用者が地域の一員として安心して暮らしの継続ができる支援を謳った法人理念を共有し、さらに各ユニットでケア目標を策定して、ケアサービスで実践しています。毎朝理念を唱和し、職員の共通認識を図っています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会へ加入し、町内会の一員として行事や廃品回収に積極的に参加している。ボランティアの訪問や絵手紙サークル、保育園との交流も持っている。ホームでの行事や避難訓練へもご参加いただけるよう働きかけている。	職員は、地域との繋がり的重要性を認識しています。利用者と一緒に地域や町内会の行事に積極的に参加をしています。ホーム行事には地域の方々が訪れています。小学生や保育園児、各種ボランティアとの交流は、利用者の楽しみになっています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	年に一回行なわれる里の家祭りや、避難訓練の参加を通じ、認知症の理解や支援方法を知って頂けるよう交流を持っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二ヶ月に一度、市職員担当者、町内会会長、ご家族様、地域包括支援センター職員、管理者、職員の参加にて運営推進会議を行なっている。入居者の日々の様子やサービスの実際の報告が行なわれ、サービスの向上につなげている。	運営推進会議は定期的開催されており、課題であったメンバーの拡大については、初めて利用者の参加が得られています。ホームの報告事項に加え、地域交流、防災等での意見交換や各メンバーからの情報提供もあり、運営に活かしています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	管理者を中心に、市の担当者と連絡を取ったり、運営推進会議を利用しながら、認知症介護の実情やケアサービスの取り組みについてお伝えし、協力関係を築けるように努めている。	行政とは各種会議に参加をし、情報や意見交換を行っています。管理者が担当窓口を訪れ、事故等の報告やホーム便り持参等でホームの実情を共有するなど、連携体制を築いています。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関する研修への参加や勉強会を行いながら、職員共通の認識を持っている。玄関等電子錠にて施錠はされているが、身体拘束に当たる事は理解している。	職員は、身体拘束禁止の対象となる具体的な行為について理解しています。当ホームは、交通量が多い道路に近いので、玄関は施錠していますが、契約時に利用者や家族に説明をし理解と同意を得ています。利用者は職員の支援の下、自由に外出しています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止法等についての研修会や、虐待についての話し合いを持つ事で、虐待が見過ごされる事がないように注意を払い、防止にも努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持っている。制度の理解を深め、活用出来る様に努めている。成年後見制度を利用している入居者様も居る為、後見人と話し合う機会もある。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、管理者や計画作成担当者より契約解除やリスクを含めた説明を行なっている。利用者様や家族様の不安や疑問点を尋ね、理解・納得頂ける様に十分な説明を行い、納得を得た上で契約している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者様からの苦情については書面を持って提出し、迅速な対応を心掛けている。日頃より意見や要望を話しやすい関係作りを心掛けている。	ホーム便りは、管理者からの情報を基に本部課長が毎月作成し、家族に届けています。家族の要望等は、意見箱の設置、家族来訪時、ケアプラン作成時等で把握しています。出された要望に対しては、各ユニット毎に対応し、改善までの一連の流れは記録に残しています。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	意見や要望、提案があった時は、ユニット会議で話し合い管理者に相談している。提案された事案について管理者会議等で検討して実施するシステムを取っている。	本部課長が機会あるごとにホームを訪れ、現状を把握しています。管理者やリーダーは職員の意見や要望を日常的に傾聴し、さらに年2回の個人面談も行っています。職員の提案を取り入れ、新たに清掃職員と調理補助職員が増員されています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	スキルアップを目指して働きながら学び、資格取得をした職員に対し、昇給や待遇の改善がなされている。ゆとりのある勤務をする為に、人材確保が必要な状況である。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所内で行なっている研修は、年間のスケジュールが組まれ行なわれている。外部研修は参加の強制が無い為、同じ職員が研修に参加している状況である。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	北広島ネットワーク地域部会に加入し、定期的な研修会への参加や交流の機会を持っている。また、ホーム間の見学会を行なっている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様が、入居時不安に思われている事や要望を伺いながら、安心と満足をして頂ける様な対応を行ないながら関係づくりに努めている。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前の面談にて、ご家族様が困っている事や不安に思っている事、要望を伺いながら信頼して頂けるよう、関係づくりに努めている。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	面談時に、ご本人様やご家族様が必要としている支援を伺いながら、安心して生活して頂ける様な支援を提供して行けるよう対応に努めている。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の出来る範囲でのお手伝いや、入居者様同士の関係作りが出来る様支援する中で、入居者様同士で余暇時間を楽しんで頂けるような関係作りを行っている。			
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者様の日常の様子や体調については、こまめに報告するようにし、入居者様の様子を理解して頂くようにしている。受診に同行して頂いたり、行事に参加して頂いたりし、共に支えていく関係を築いている。			
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様や親戚、友人等の面会がある。	職員は、生活歴や利用者との会話から、馴染みの人や場所の把握に努めています。利用者が通い慣れた商店や理美容室の利用、墓参り、地域の行事への参加等へは、家族と協力して支援しています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の関係を把握した上で、食堂席の配置を考えたりしている。一緒に歌を歌われたり、パズルを行ないながら他者に教えてあげたりとコミュニケーションを取られている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居された方が入院されている病院へ、お見舞いに行ったりしている。退去された方のご家族様が来設される事もある。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	希望を伝えられる方には、都度対応に努めている。意思表示が難しい方には、ご家族様と相談したり、ご本人の表情や行動を観察しながら意向をくみ取るよう努めている。	職員は、関わりの中で得た情報を積み重ね、利用者とのさり気ない会話からも要望を捉え、行事やケアプラン作成に繋げています。要望に応え、神棚の設置や外食、釣り等が実現しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時や入居後、ご本人やご家族様より生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境等を伺うように努めている。日々の会話からも把握するよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々、様子観察を行い、心身状態や有する力等の現状把握に努めている。記録に残したり、職員間で情報交換を行い情報の共有にも努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	3ヶ月ごとに介護計画の評価と見直しを行なっている。ご本人の現状に合わせた介護計画を作成している。ご本人やご家族様の要望を伺う様にしている。毎月行なっているユニット会議でも、ご本人らしく暮らして頂けるよう話し合いの場を設けている。	ケアプラン作成時は、暮らし方の要望を利用者や家族から傾聴し、さらに、医療関係者の意見を基に職員全員で協議しています。毎日の個別記録にケアプランの実践を記載し、3ヵ月毎の見直し時に活かしています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアの実践等、個別の記録に記入している。職員間での情報も共有されており、実践や介護計画の見直しにも活かされている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況により通院や買い物、散歩や他ユニットとの交流等柔軟に対応している。美容院の手配も行なっている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	里の家祭りを開催し、地域の方の参加を得て交流を図っている。美容室の訪問にて散髪や、ボランティアの訪問等で暮らしを楽しまれている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	希望の病院への受診を行なっている。協力病院では、往診や定期受診、緊急時の受け入れ先にもなっている。それぞれ納得の得られたかかりつけ医にて、適切な医療を受けて頂くよう支援している。	利用者や家族の希望する医療機関への受診を尊重し、家族の協力も得ながら職員が同行しています。24時間連絡体制の医療機関による受診や、定期往診、緊急時対応が受けられるようになっていきます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	協力病院の看護師と連携を取り、受診や往診時に相談や指示を頂いている。認知症があり、ご自分で体調不良を訴えられない方が多い為、体調や表情を観察しながら早めに受診するようにしている。			
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご家族様や病院と状況確認をしながら、早期退院に向けての話し合いは行なっている。ご本人の状況や支援方法等の情報交換を行なっている。ソーシャルワーカーとの連絡も取り合っている。			
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご本人を交えての話し合いは難しいが、状態の変化があった時には、今後考えられる事や、ホームで対応出来る事を説明しながら方針を共有している。日々の様子や、小さな変化等もお話する様になっている。	医療連携体制加算は条件が整わず徴収していませんが、重度化や終末期に関する指針を整備し、契約時に利用者や家族に書面で説明して理解と同意を得ています。最大限の支援に努めており、病状変化時には主治医から今後の方針を伝えています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時のマニュアルが作成されている。それぞれ、緊急時に備えた対応を頭に入れている。急変時や事故発生時には、慌てずに対応する様話し合ったり、内部研修等で再確認を行っている。			
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に3回の避難訓練を行い、地域の方の参加を得て、終了後に意見を伺っている。避難経路の確認や消火器の使用方法、火災に関する勉強会も行なっている。避難済みマークを居室前に掲示、避難マニュアルも作成。災害時に必要な備品や非常食も用意している。	事前に作成した消防計画書（避難の訓練要領）に基づき消防署の指導の下、地域の方々の参加を得て、火災や地震を含む避難訓練を日中や夕方想定で実施しています。日頃から勉強会等で災害に対する意識統一を図っています。	さらなる災害対策として、夜間や場面想定（入浴、食事、トイレ、外出時、寒冷期等）の実践的訓練、職員全員の救急法の継続受講、緊急連絡網や避難訓練実施記録の見直しの検討を考慮していますので、その実行に期待します。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの誇りや尊厳を大切にできる様な言葉使いを用いている。プライバシーを損ねないよう、他者に聞こえない様に言葉掛けを行ったり、さりげなく誘導する様にしている。	契約書に、10項目からなる利用者や家族の権利を記載しています。職員は毎週その内容を再確認して業務に入っています。馴染みと馴れ合いを認識し、ケアサービスの実践に努めています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中で、自己決定出来る場面を作るようにしている。自己決定が難しい方には、選択出来る様にしたり、反応や表情を観察し理解する様に努めている。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	自立されている方は、ご自分のペースで過ごされている。支援が必要な方についても、出来るだけご本人の生活ペースで過して頂ける様、様子を観ながら必要な部分での支援を行なう様にしている。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問美容室を利用している。髭剃りや爪切り等も気に掛けながら、身だしなみには気を付けている。ご自分で着る物を選んで頂いたりし、おしゃれをして頂ける様支援している。			



自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	見た目から食事を楽しんで頂ける様、彩りや盛り付けに気を配っている。行事で外食を楽しんで頂く事もある。出来る範囲で、下膳やテーブル拭き等のお手伝いを行なっている。	職員は、食欲増進に繋がる献立をユニットごとに作成しています。利用者と一緒に菜園の野菜を漬け物にしたり、お彼岸にはおはぎを作っています。また、行事の特別食やおやつバイキング、居酒屋形式等で、変化ある食事形態に取り組んでいます。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養のバランスを考えた食事の提供を行なっている。食事と水分摂取量を記録し、不足している部分での栄養や水分補給を、エンシュアやゼリー、果物等で行なっている。状態に合わせて、トロミや刻みにし提供している。			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	定期的に歯科往診を受け、口腔ケアを行なっている。朝、夜と口腔ケアを行い、必要に応じ介助や見守り、言葉掛けを行っている。			
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄表を使用したり、ご本人の様子を伺いながらトイレでの排泄支援を行なっている。	自立排泄の利用者もいますが、殆どは排泄チェック表を基に、職員が利用者へ声かけや誘導を行い、トイレでの排泄支援に取り組んでいます。衛生用品の使用は会議で検討し、最小限にとどめています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	果物やヨーグルト等の乳製品の提供を多くしている。水分も沢山取っていただける様、好みの飲み物を提供する様にしている。便秘の方には、ファイバーを使用し排便の促しを行なっている。			
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	職員配置の関係で時間帯は難しいが、入浴日は決めずに行なっている。拒否される方や混乱される方もいらっしゃる為、言葉掛けの工夫や様子を伺いながら、タイミングを見て支援を行なっている。	各ユニットにより違いはありますが、日中、週2～3回の入浴支援を行っていますが、希望があれば夜間時でも対応しています。入浴剤入りの浴槽で、利用者は入浴を楽しんでいます。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	温度や湿度には配慮している。体調や体力に合わせて、静養の支援を行なっている。			
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方されている薬の目的や副作用の把握を行なっている。服薬支援についても、医師の指示通りを行い、症状の確認に努めている。			
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の生活の中で、楽しみとなる事の提供として、手の届く範囲にパズルや雑誌等を用意し、ご自分のペースで気分転換を行なって頂ける様支援している。毎月の行事でも楽しんで頂いたり、季節を感じていただける様な支援を行なっている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日には、ホーム前での日光浴や散歩の支援を行なっている。ご家族をお誘いし、外出行事へ行く事もある。季節を感じて頂ける様な外出行事、食事やドライブを楽しんで頂ける様な外出行事を行なっている。	2月、3月以外は、個別、グループ、全体としての外出支援に取り組んでいます。利用者は、散歩や菜園作業等で外気に触れています。家族や住民の方々の支援の下、地域のイベント参加やドライブがてら行楽地を訪れ、花見や外食を楽しみ五感刺激に繋がっています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を所持されている方はいらっしゃらない。ご自分の欲しい物を希望される方には、お預かりしているお金の中から買い物の支援を行なっている。			
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族からの電話に出て頂く事はあるが、理解が難しい方のほうが多い。ご自分で携帯電話を持たれている方は、ご自分で電話されたりと連絡を取られている。			
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様の状況に合わせ、テーブルやソファの配置替えを行なっている。ホール内の壁には、季節を感じて頂ける様な飾り付けを行なっている。トイレや浴室は、安心して入って頂ける様に、温度に配慮している。	共用空間は、各ユニットそれぞれに趣があります。習字などの利用者の作品や観葉植物、節分に因んだ飾り付け、行事での写真、神棚、カレンダー等がユニット内に彩りを添えています。利用者は食卓やソファなどで寛ぎ、会話やレクリエーションを楽しんでいます。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	何ヶ所かに分けソファを配置し、思い思いに過せる様な居場所の工夫を行っている。手の届く場所にパズルや雑誌等を用意し、それぞれが興味を持った事を行なえる様にしている。パズルを教え合ったりと関係作りも出来ている。			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人が安心して過せる様、ご家族と相談しながら、馴染みの物や使い慣れた物、好みの物を居室に用意して頂き、居心地良く過せる様支援している。	表札や利用者の写真を居室前に掲げ、自分の部屋として認識しやすい工夫が見られます。居室にはクローゼットが設置され、日用品等が収納されています。ソファやテーブル、仏壇、テレビ、写真、飾り物などが持ち込まれ、利用開始以前の生活環境になるよう配慮されています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室の表札やトイレを表記し、環境面の整備を行なっている。シルバーカーを使用して頂いたり、手摺の設置もされており、安全に自立した生活を送って頂ける様工夫している。			